



## 幅広い知識と表現する力や教える力を身に付ける。

制作や構想、鑑賞の知識や経験を深め、美術を通して教育や社会に関わっていく力を身に付けます。

「図画工作」を得意分野とする小学校の教員を目指します。

美術に関する幅広い知識を持った中学校教員を目指します。



つくることの楽しさや奥深さを学ぶ



それぞれの表現意図に応じたアドバイス



卒業制作展

## 4年間の学び

図画工作・美術専修の学びは、教科教育学としての図画工作・美術教育学の領域と、それを支える教科内容学として、絵画、彫刻、デザイン、工芸の4実技領域と、美術史領域から構成されています。最終的にこれら6領域のどこに比重をかけるかについては、学生諸君の希望ができる限り尊重されます。1年次では図画工作・美術教育学および実技の基礎を実践的に学びます。2年次では1年次の学びの専門性をより深め、美術史についても基礎的な内容の講義が始まります。3年次の後期からは、学生諸君自身のより深めたい領域を選び、その領域の研究室に所属した上で、実技、理論それぞれの専門的な研究を開始します。4年次では、研究室の教員の個別指導を受けて、大学での学びの集大成としての卒業制作、卒業論文を制作します。

### 取得できる免許

#### 〔卒業要件に含める免許状〕

小学校教諭一種免許状  
中学校教諭二種免許状(美術)

#### 〔取得を優先して薦める免許状〕

中学校教諭一種免許状(美術)

#### 〔所定の科目履修で取得可能とする免許状〕

高等学校教諭一種免許状(美術)  
◎幼稚園教諭二種免許状  
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です

### 先輩Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 図画工作・美術専修4年  
愛知県立中村高等学校出身



多彩な価値観に触れながら、  
造形表現の楽しさを探求した経験を  
教育や制作活動へ生かしていきたい。

仲間との制作活動を通じて、お互いの個性や考えを尊重し合いながら学べる環境は、大きな刺激になっています。教員以外の進路を志す学生も多く、さまざまな価値観に触れ成長できる点も魅力。特に彫刻制作の授業では、プロの作家として活動する教員から直接指導を受けられます。また、ワークショップなどで子どもの「できた」「分かった」を引き出す工夫を学ぶ中、新たな気付きを得ることができました。ここで学んだ探求心と多様な価値観を受け入れる姿勢を、教育や制作活動に生かしていくことが目標です。

### ■ 2023年 2年次後期の時間割 (例)

|     | 月曜日       | 火曜日     | 水曜日                                     | 木曜日       | 金曜日           |
|-----|-----------|---------|-----------------------------------------|-----------|---------------|
| 1時限 | 初等英語科教育法A | 美術科内容論Ⅰ | 学校体験活動Ⅰ                                 | 中等美術科教育法Ⅰ | 学校教育におけるICT活用 |
| 2時限 | 初等家庭科教育法A |         | 学校体験活動Ⅰ                                 |           | 道徳教育の理論とその方法  |
| 3時限 | 東洋美術史     | スポーツⅡ   | この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。 | 彫刻実技Ⅱ     |               |
| 4時限 | 絵画制作Ⅱ     |         |                                         | 彫刻実技Ⅱ     |               |
| 5時限 | キャリアデザインⅡ |         |                                         | デザイン実技Ⅱ   |               |